

## 平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

### ① 議員定数について

番号	意見・要望	回 答
	<b>【 削減すべきとする意見 】</b>	
1	16名は多い。昨年の議会報告会で、活動が忙しく各人の意見を聞くことは出来ないとの発言があった。それなら定数を減らしてもいい。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
2	少子化だ、2人減らしていい。	同 上
3	質なのか量なのかで考え方があるが、14人となれば、1人あたり市民1,900人程度で妥当なところではないか。あわせて、今後の議論にあたって2点注文をつける。 ・任期、年齢など立候補制限を行なうこと。 ・議員定数の結論について、その内容・理由を明らかにすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立候補制限は制度上行なうことは出来ません。</li> <li>・議員定数の結論に至る経過等については、前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。</li> </ul>
4	美唄市の財政状況が逼迫しているならば定数を減らすのもやむを得ない。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
5	最盛期の人口から比べて、現在の16名は多いのではないか。	同 上
6	削減は賛成である。専修大学の閉校もあり、今後の人口増は望めない。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
7	議員定数に関して、健全化計画の観点から2名の削減は必要と考える。	同 上

平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

8	議員定数に関して、基本的な考え方は理解出来るものの、市職員の給与削減、市民負担など考えると、2名削減はやむを得ないと考えるが？	同 上
	<b>【 現状維持すべきとする意見 】</b>	
9	定数は現状維持で良い。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
10	議会に削減反対の意見（文書）を出している。	ご意見に関しては、要望として議論の参考にさせていただきました。
11	議員や報酬の削減は考えない。議員は保障されるのは4年だけ。職員と同じレベルで下げるのはおかしい。しっかりと活動してもらえらなら取り返すことになる。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
12	議員の定数は減らさなくてもよい。2名減で財政がどれだけ潤うのか。議員が市民の声を市民の側に立って聞くこと。	同 上
13	15人（議長を除いて）で知恵を出して真剣に人口減をどうするのかを考えてほしいし、まちの活性化を考える議員であってほしい。	まちの活性化の議論に関する指摘については、認識を共有しており次期総合計画の策定にあたり議論がなされるものと考えています。
14	議員の活動が見えないから減じる議論が出るのではないか。活動の中身を知ることが大切だ。民意を反映するためにも減らすべきではない。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。

平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

15	議員の数は現状でいいのではないか。	同 上
16	今のマスコミは、国でも何でも減らせば良い事だとの風潮があるが、そうではない。	同 上
17	議員定数は現状維持だ。定数を減らせば多くの市民の声を行政に反映することや、行政に対する監視やチェックが出来なくなる。	同 上
18	美唄市は今、専修短大の撤退、市立病院の再建、市の財政健全化問題等を抱えている。こうした重要な課題があるからこそ尚更減らすべきではない。16名の議員が皆で協力して頑張ってもらいたい。ですから、減らすのは時期尚早です。	同 上
19	現在の定数は他市と比較して多くはない。減らせば市の財政が助かるという発想は違うと思う。	同 上
20	結論から言えば、議員定数を減らすのは反対。減らす理由として財政が厳しいからというのは視点が違うと思う。	同 上
21	定数の削減は反対である。報酬を下げてでも予算の範囲内であれば、現状維持とすることが望ましい。地域の声が反映しづらくなるのでは？ 議員報酬以外の報酬を受けている議員に関して報酬を下げることも必要ではないか？	議員報酬に格差をつけることにつながる支給方法については、現時点で議論はされていません。 その他の指摘については、前記の「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
22	定数の削減は反対である。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。

平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

23	<p>削減問題では議員がどれだけ地域のことを見ているのかが問題である。</p> <p>議員削減に関しては論点が3点あると考える</p> <p>①削減に関してはブロック別に考える必要がある。従って、類似自治体からすると3～4人少ない。</p> <p>②費用に関して過去12年間に3割強が削減されていることが分かる。削減する必要があるのか？類似の自治体からみても少ない。</p> <p>③議会に問われていることはなんだろうか？</p> <p>議会の役割を高める事が必要である。市民、議会、市との関わりを深く持って改革に努める事が必要である。</p> <p>従って、事実に基づかない削減は問題があると考ええる。</p>	同 上
	<p style="text-align: center;"><b>【 議会自ら判断すべきとする意見 】</b></p>	
24	<p>議会の機能を十分に発揮出来るような組織体制としては何人がいいのか。議員の資質の問題だ。議員の研修も、資質向上のために行なうべきだ。定数議論の答えは出ない。最後は議員が美唄市の現状、自分の置かれている立場を踏まえてどうするのが最善か、それで決めるのがいい。</p>	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
25	<p>議員、自ら決めるべきだ。議員活動はお金のためではないと考えている。</p>	同 上
26	<p>定数問題は議会で自主的に判断して頂きたい。</p>	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。

## 平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

【 報酬ほか経費面に関する意見 】		
27	定数維持なら報酬の大幅削減が必要。病院財政の厳しい中、現行報酬でいくなら半数でいいとの意見もある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員定数が問題となる際、議員報酬等の議員に要する費用や議会活動のあり方などが問われ、それぞれが関連していると認識しています。これまでも、議会改革議論を進め多くの改善や改革に取り組んできましたが、今後も市民意見を踏まえ改革に向け議論を進めてまいります。</li> </ul>
28	議員定数を減らさないで、歳費の削減に努めたらいかか。定数削減は、単に人口減で言われている。ただ数の問題ではなく、歳費との関連で議論されるべきだ。	
29	市の財政の採算がとれるなら、議員数は少ないより多いほうがいい。いろいろな意見があっている。今の赤字は誰が作ったのか。議員の責任だ。今は、名古屋、矢祭などでいろいろな取り組みがなされている。収入が減ったから税を上げる、これでは止まらない。上げる前にもっと精査を。自分達の報酬を含めて運営の在り方がどうか、考え方はどうか、ちゃんと考えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指摘のあった議会費の削減については、これまでも削減を重ねていることから、現時点で議員報酬等の更なる削減についての議論はありません。</li> <li>・その他の指摘に関しては、前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。</li> </ul>
30	議会の議論経過で減らしたお金を山分けするという考え方が出されたそうだが、それはとんでもなくおかしい。併せて出された自己評価のことも、それが議員の資質向上につながるのか疑問だ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山分け」の指摘に関しては、前記「議員定数に関する議会議論」「討論-反対その②」でご理解下さい。</li> <li>なお、自己評価に関する指摘については、ご意見として受け止めています。</li> </ul>
31	減らすのがいいのかどうかの判断は難しいが、頭数がいればいいというものではなく、人口減を止めることや、雇用の場の確保などの課題と向き合い、20年先のまちづくりの問題意識を持てるかどうかだと感じる。議員の資質を良くするために数を減らして、待遇をアップするのも一考かも知れない。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。

## 平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

3 2	定数問題で一部マスコミが「議員の数を減らして、その分を報酬に上乘せする」とあり、大変矛盾に感じる。	前記「議員定数に関する議会議論」「討論-反対その②」によりご理解下さい。
3 3	現在の議員報酬は決して高くない。政務調査費も 1 円以上の領収書を添付して透明性を持ってすれば必要だ。	政務調査費は行政視察と共に、その執行を凍結していますが、透明性を高める指摘については認識を共有しています。
3 4	政務調査費や行政視察を凍結することは、本当に市民のためにならない。それは大事にしてほしい。 ただ、市民のために一生懸命に頑張っているのか。この 3 年間一度も質問をしていない人がいる。残念だ。また、行政に対する監視もしっかりやっていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会活動費の一部凍結については、財政健全化の推進上止むを得ないものと判断しており、現時点で凍結解除の議論はしておりません。</li> <li>・質問についての指摘に関しては、議員個々の判断となりますが、活発な議論は欠かせないものと認識しています。また、行政監視の充実についてもルールに基づき対応してまいります。</li> </ul>
3 5	美唄市と言うことであれば、人口が減少している状況ではあるが、単に削減だけでは、市民の声が反映されるのか心配である。可能であれば現状維持でも良いのでは？経費節減を基本に持つことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費節減を基本とする考えは、議会費のみならず行政経費全般について共通していることと認識しています。</li> <li>その他の指摘については、前記「議員定数に関する議会議論」でご理解下さい。</li> </ul>
3 6	削減に関して議会はどのように考えているのか？ 率直に議員にかかる経費を削減するのはいいことである。実際にいくら減るのか？ また、2名削減と現状維持というが、メリット・デメリットを教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長、副議長を除く議員 1 人当たりには要する年間の人件費は、月額報酬で 3,876 千円、期末手当で 1,004 千円、共済費で 634 千円、合計 5,514 千円。2 人削減で 11,028 千円の減額となります。</li> <li>・メリット、デメリットについての定義はありませんが、一般的にメリットとして経費が削減されること。デメリットとしては、多様な民意を反映しづらくなるとされています。</li> </ul>
3 7	16 名で報酬を削減する方法があるのでは。	NO 27～NO 29 の回答によりご理解下さい。
3 8	過疎化が進む地域での住民の声が反映されなくなるのではないか。そのためには議員報酬を上げたり、政務調査費を復活させることで生活できる議会活動を求め、お年寄りの生活が豊かになったと実感もてるまちづくりを進めてほしい。	NO 34 の回答によりご理解下さい。 なお、「まちづくり」の指摘については、ご意見として参考にさせていただきます。

## 平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

39	議員の費用はいくらかかっているのか？	NO36の回答によりご理解下さい。
40	削減の問題もあるが、現状市議会の歳費はどのようになっているのか？	同上
41	現在の議員報酬はどのようになっているのか？ 政務調査費や視察費用も含めて。多いのか少ないのか？ 活動が出来る適正な金額なのか？	「活動が出来る適正な金額なのか？」との指摘については、明確な回答は出来ませんが予算の制約、他市議会との比較と共に、活動についてその内容が市民説明、市民理解が得られる議会活動なのかが、最も重要であると認識しています。 その他の指摘に関しては、NO33、NO36の回答によりご理解下さい。
42	議会にかかる費用に関して類似団体と比べて適正なのか。	概ね、適正な位置付けであると認識しています。
43	削減は支出を抑えるためか？ 報酬は日当制でもいいのではないか？	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。なお、報酬の日当制についての指摘については、議会活動と共に議員の日常活動の実態から見て、現時点での議論はありません。
44	議員報酬以外の報酬を受けている議員に関して報酬を下げることも必要ではないか？	NO21の回答でご理解下さい。
	<b>【 その他の意見 】</b>	
45	報告会の意見で、とのことだが、地域の市民が全員来ているのではない。絶対数がない。どう判断するか不思議だ。	「絶対数がない」との指摘は、その通りであります。寄せられた様々な声を議会の決定に当たり参考にさせて頂くとともに、その考えに立っています。
46	極端な話では、町の中1人と東西南北で各1で5人いればいいとの意見もある。それでは議会が成り立たないから2名減なら現状でやってもらいたい。5人減らすなら市民の意見を聞いてもらおう。14にするなら、議員の良識の範囲でやってもらいたい。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。

## 平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

4 7	財政赤字が明るくなる道筋が示されず、将来子どもにどれだけツケが残るか分からない。だから定数や報酬を減らすなど、早く処理出来るところに話していく。	ご意見として受け止めました。
4 8	市民生活を知り、市民の声を反映出来る議員であるかが大切だ。	まちづくり基本条例の議会条項の規定に基づき、主権者である市民の声を活かすための情報の共有と調査活動の拡充が求められていると認識しております。
4 9	議員は専門的知見を持つべき。減らせばいいというわけではない。	議会運営のルール上、参考人制度と共に専門的知見の活用についても可能であり、今後の議会改革議論の中で、その扱いについて検討していきます。 議員の専門性については、各人が資質の向上に努めることとなります。
5 0	6月定例会で決めるのは拙速だ。もっと、市民の声を聞いてから決めるべきではないか。	次の改選期は、明年4月であり、立候補者の準備に要する時間からもタイムリミットと判断し、6月定例会で決定しました。
5 1	定数減にして大丈夫かという思いはあるが、美唄が良くなるために活動してほしい。 数については何人がいいのか、よくわからない。	ご意見として受け止めました。
5 2	議員の中身の問題だ。質問しない議員は仕事をしない市職員と同じことになる	議員の資質の向上は、それぞれの議員の努力によることとなります。議員の質問のあり方については、NO34後段の回答でご理解下さい。
5 3	議員は美唄市全体を考えるべきだ。南美唄の生活環境改善の面でも、テンプラ舗装や場当たりの側溝整備に見られるとおり、美唄市の中でこの地域をどうするのかという視点がない。まちづくりは時間がかかっても、地域を見据えて計画性を持ってしっかりやってほしい。議員を減らすのであれば、そのことが中途半端にならないようにすべきだ。	議員として、議会に臨む基本姿勢の考え方については認識を共有しています。 その他の地域の位置付け、計画行政を推進することについても、指摘を受け止め次期総合計画の策定にあたり活発な議論がなされることと考えています。
5 4	定数問題を議員同士で議論して、果たして結論が出るのか。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
5 5	第3者の機関に委ねた方が良くはないか。	同 上

## 平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

56	人口が減っても美唄市の行政面積は変わらない。 定数を減らして市民の声が届くのか。	同 上
57	議員定数は私達にはわからない。	同 上
58	平成19年に定数22名から16名になった。その理由として、財政が厳しいということもあったけど、主な理由としては、人口減少だったはずだ。	同 上
59	政権は変わったけど、以前から言われている地方分権はこれから進むはずだ。国からの権限や財源委譲など、これらに対応できる議会でなければならない。そういう意味で定数は減らすべきではない。 しかし、美唄市の人口減少は予測を上回って加速している。こうしたことから、仮に定数を減らしても議会としての政策の意思決定ができれば減らす事に反対ではない。	同 上
60	議員定数の決定はどのように決まるのか？議会は16名が多いと判断されているのか？	議員定数は美唄市の議員定数条例により定められており、定数の増減を行なう場合は条例の改正が必要となります。また、地方自治法の規定には人口区分に応じた議員定数の上限が設定され、美唄市の場合はその上限が26人と決められています。 なお、16名が多いとの判断については、前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
61	議員の定数について、2名削減、現状維持と示されているが、参加している方はどのような考え方を持っているのか？	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
62	定数2名の削減に関して、現在の会派はどのようなになるのか？現在、弊害はないか？	会派制は議会ルールに定められており、2人の削減により会派制の廃止につながることは、可能性として極めて低いと認識していますが、会派の今後については選挙結果を受けた議員間の議論を待たなければなりません。 なお、会派制の弊害については、過去に会派制のあり方について議論があったと承知していますが、現状では特に議論対象になっていません。

## 平成 22 年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」の回答

6 3	2 名削減することは、美唄市にとって本当にいいことであるのか？	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
6 4	定数は 6 月の定例会で決めるのか？	NO 5 0 の回答でご理解下さい。
6 5	議員定数の上限は分かるが下限は無いのか？	NO 6 0 の回答のとおり、地方自治法の規定は上限を定めたもので下限の設定はありません。
6 6	地域に住んでいて過疎化が進む中において、介護の関係、病院の入院の関係などの不安が大きい。議員定数が減ることで解消されるのか。	前記「議員定数に関する議会議論」によりご理解下さい。
6 7	東明地区には市会議員がいないので、市民意見が反映されづらいと思う。市会議員の仕事量はどのようになっているのか？	市議会議員としての活動は、議案の審議、一般質問、各種会議など議会内の活動と共に議会内の活動に活かすための日常の調査活動や議員個々の地域活動等、議会外の活動も多くあり、客観的に活動量を測ることは難しいことと認識しています。